

競技注意事項

本大会は 2024 年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走基準並びに本大会申し合わせ事項に基づいて実施する。

1. 出場選手について

各区間の正式オーダーは、11月9日(土)10時00分～12時00分までの間に、原則、WEB申請システムより区間を入力し、大会本部に電話にて入力完了の旨、連絡をすること。

【中部連盟】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/444> 南事務局長携帯：080-1567-6444

【北陸連盟】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/447> 敷本事務局長携帯：080-6588-8991

※システムからの申請が出来ない場合は、大会本部(田原文化会館)へ持参またはFAX(0531-22-6455)にて提出のこと。

2. 選手変更について

- (1) 11月9日(土)12時00分までに提出したチームオーダーの変更は原則として認めない。
- (2) 選手が故障・病気のため出場出来なくなった場合は、補欠をその区間の交代として起用する。この場合、大会当日の午前7時15分～7時30分までに審判長(大会本部)に届けて承認(許可)を得ること。

3. 「アスリートビブス(ナンバーカード)」、「タスキ」について

- (1) 「アスリートビブス(ナンバーカード)」は、1人2枚配布するので、ユニフォームの胸と背に競技役員にはっきり見えるように安全ピンでとめる。
- (2) 「タスキ」は、主催者側で準備するものを使用する。

4. 招集(点呼)について

- (1) 選手招集所は、出発点・各中継所に設ける。
- (2) 招集(点呼)の方法は次のとおり。
 - ア. 第1区は、スタート地点後方にて第1点呼(代理可)を行う。
最終点呼はスタート地点にて行う。尚、タスキの検印は行わない。(3分前に競技服装になること)
 - イ. 第2区から第7区の第1点呼、最終点呼(本人)は中継所で行う。
 - ウ. 各区間とも、最終点呼は本人が行い、アスリートビブス(ナンバーカード)をチェックする。

	第1点呼	最終点呼	出発予定時刻		第1点呼	最終点呼	出発予定時刻
第1区走者	8:10	8:40	9:00	第5区走者	10:15	11:00	11:20
第2区走者	8:35	9:20	9:34	第6区走者	10:50	11:35	11:56
第3区走者	8:55	9:40	9:57	第7区走者	11:15	12:00	12:20
第4区走者	9:30	10:15	10:32	フィニッシュ	—	—	12:55

5. 競技について

- (1) 選手の走行は、道路左側部分を原則とし、交差点では、交差点の中心から右に出ない。また、センターラインのある部分については、センターラインを越えないこと。および競技役員・警察官等の指示に従うこと。
- (2) 引き継ぎには、タスキを用いる。タスキは、肩から斜め脇下へかけて走るものとし、肩にかけてないものは失格となる。ただし、引き継ぎ前後約 50m は、手にもって走ってもよいが、引き継ぎ後は出来るだけ早く肩にかけること。
- (3) タスキの引き継ぎは、中継所より進行方向 20m の引き継ぎゾーン内で行い、手から手に確実に受け渡すこと。
なお、タスキを引き継ぐ選手は、競技時間になったら、競技役員の指示で「待機場所」に入り、走者が近づいたら、中継線より前方に位置すること。
- (4) タスキを渡し終わった選手は、速やかに左側へ寄るか、走路外へ出ること。(右側に行かないこと)
- (5) 車(自転車を含む)および人による伴走、飲食物の補給、その他の援助(助力)を行うことはできない。ただし、第 4 区のみ主催者で給水を実施する。給水場所については監督会議で説明する。
- (6) 第 1 区走者の出発について
 - a. 出発時のコース順は、監督会議で決める。
 - b. 出発の要領は次の通りとする。
出発 5 分前、3 分前、1 分前、30 秒前、10 秒前、位置についての通告で出発線に並ぶ。
(3 分前に競技服装になること。)
- (7) 競技者が途中で競技を続行する事が出来ない状態になる、または競技中止を指示されるなどして、レースを途中棄権した場合は、当該チームのその区間の競技を無効とし、審判長の指示により次の走区から次走者を出発させる。
この場合の出発時期は、最終順位の走者から 1 分後とし、オープン参加として扱う。
総合記録は認めないが、無効となった区間以外の区間記録は認める。
- (8) 繰上げ出発は、各中継所において、先頭より 10 分間遅れた場合、その対象とする。
- (9) 各区間とも中間点、あと 1km 地点の表示を出す。
- (10) レース中に生じた事故については、救急医療のみ主催者側が行うが、事後の責任は負わない。医務係は車両にて随行する。
- (11) 関係車両は原則として、選手の後方を走行する。選手との並走は禁止する。

6. 選手配置・収容について

- (1) 選手の配置、収容はバスで行う。バスを使用しないチームについては、事前に届け出ること。
- (2) 選手 1 人に対して 1 人の付添い者も選手収容バスに乗車することができる。

7. その他

- (1) 選手の衣類運搬車は随行しないので、走り終わった選手の衣類(着替え)は各チームで付添い者が事前に用意するか(次走者の衣類を着用するか)計画しておくこと。
- (2) 速報結果は、東三河陸上競技協会 HP にアップする。 <https://tsriku.stars.ne.jp//soku/241110.pdf>